



## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社オカムラ食品工業 上場取引所 東  
 コード番号 2938 URL https://www.okamurashokuhin.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長兼CEO(氏名) 岡村 恒一  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役兼CFO(氏名) 谷口 耕太 (TEL) 03-3666-2333  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	28,722	13.4	2,851	27.7	3,101	45.9	2,111	32.9
2025年6月期第3四半期	25,329	10.9	2,233	22.0	2,125	4.1	1,588	15.6

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 3,167百万円(79.4%) 2025年6月期第3四半期 1,765百万円(7.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	42.31	41.57
2025年6月期第3四半期	32.57	31.66

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割及び2025年7月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っています。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しています。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	63,025	19,040	30.2
2025年6月期	41,271	16,043	38.9

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 19,033百万円 2025年6月期 16,043百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	19.00	—	9.50	—
2026年6月期	—	4.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2025年1月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、2025年6月期の第2四半期末配当金19.00円は当該株式分割前の1株当たり配当金額を、期末配当金9.50円は株式分割後の1株当たり配当金額を記載しています。当該株式分割を考慮しない場合の2025年6月期の1株当たりの年間配当金合計は38.00円となります。また、2025年7月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っており、2026年6月期及び2026年6月期(予想)については、株式分割後の内容を記載しています。

## 3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,035	10.4	3,813	26.2	3,594	27.7	2,577	27.5	52.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) OKAMURA TRADING (HONG KONG) COMPANY LIMITED
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年6月期3Q	50,254,460株	2025年6月期	49,213,884株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	1,080株	2025年6月期	1,080株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年6月期3Q	49,907,421株	2025年6月期3Q	48,772,851株

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割及び2025年7月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っています。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の経営成績の状況の概要は次のとおりです。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の個人消費や輸出は堅調なものの、米国の通商政策や中東情勢が景気を下押しするリスクに留意が必要な状況となっています。一方で、当社グループの主な事業地域である東南アジアの経済環境は、内需外需に支えられ、概ね堅調に推移しました。

当社グループにおきましては、中期経営目標2030において、国内養殖量の拡大と海外卸売事業売上の拡大を最重要課題として位置付けています。当第3四半期連結累計期間において、国内の養殖事業は、地方自治体との養殖場適地開発の協力強化や、中間養殖場及び新規バージ船の導入に向けた設備投資が順調に進みました。また、海外卸売事業については、東南アジア諸国の旺盛な経済需要を基に事業拡大傾向が継続しています。

当第3四半期連結累計期間において、海外加工事業において販売価格の転嫁が追い付かず営業利益が減少したものの、国内加工事業の主力製品であるいくら製品について、市中の原料不足・市場供給量不足から想定を上回る販売単価で推移したことで販売額が増加し、全体としては概ね順調に推移しています。

上記の結果、売上高は28,722百万円(前年同期比113.4%)、営業利益は2,851百万円(前年同期比127.7%)、経常利益は3,101百万円(前年同期比145.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,111百万円(前年同期比132.9%)となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (養殖事業)

国内においては、販売単価の上昇と規模拡大によるコストメリットによる製造原価の低下はあったものの、海外においては、海面養殖場における生育不良、相場影響による販売単価低下等により利益率が低下しました。

なお、養殖事業には国際財務報告基準（IFRS）を採用する海外子会社が含まれている関係上、養殖事業の損益には、IAS第41号「農業」に従った売却コスト控除後の公正価値により評価した結果（売上原価△307百万円）が含まれております。

以上の結果として、売上高は5,604百万円(前年同期比106.5%)、セグメント利益は539百万円(前年同期比72.7%)となりました。

(単位：百万円)

売上高		5,604
営業費用	材料費、人件費、販管費等	5,372
小計（公正価値評価損益を除いたセグメント損益）		231
営業費用	公正価値評価損益	307
合計（セグメント損益）		539

(国内加工事業)

いくら、筋子については、北海道秋鮭不漁等による国内材料不足により販売価格相場が上昇、当社のいくら製品も想定を上回る水準での販売単価推移となり、販売額が増加しました。また、長期単価契約の販売先に関する契約単価の見直しも順調に進み、相対的に利益率の高いいくら商品の販売割合が増加したこと等により利益率は改善しています。

以上の結果として、売上高は9,311百万円(前年同期比126.6%)、セグメント利益は1,955百万円(前年同期比205.1%)となりました。

(海外加工事業)

為替や仕入相場の影響による原料価格上昇に対して一定の値上げを実施した結果、製品及び商品の販売量が減少し、加えて価格転嫁が追い付かなかったことから粗利率が低下しました。また、従業員数の増加による人件費増加等の影響により販売費及び一般管理費が増加いたしました。

以上の結果として、売上高は11,100百万円(前年同期比105.8%)、セグメント利益は546百万円(前年同期比71.0%)となりました。

(海外卸売事業)

東南アジア諸国における日本食マーケットの拡大を背景に、当事業は拡大を続けています。当第3四半期連結累計期間においてもこの傾向は継続しており、販売量は堅調に推移しました。

以上の結果として、売上高は11,006百万円(前年同期比127.5%)、セグメント利益は726百万円(前年同期比160.0%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の財政状態の状況の概要は次のとおりです。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は50,373百万円となり、前連結会計年度末に比べ20,045百万円増加いたしました。主な要因としては、養殖事業において国内の養殖魚の水揚げ前の時期であること等により仕掛品が1,883百万円増加したこと、国内加工事業において魚卵の仕入を進めたこと等により原材料及び貯蔵品が10,799百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は12,652百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,708百万円増加いたしました。主に事業拡大に伴う設備投資による増加であります。

以上の結果、総資産は63,025百万円となり、前連結会計年度末に比べ21,753百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は38,370百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,333百万円増加いたしました。主な要因としては、運転資金として短期借入金が増加した18,520百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は5,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ423百万円増加いたしました。

以上の結果、負債合計は43,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,756百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は19,040百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,996百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を2,111百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,416	7,943
売掛金	4,599	4,306
商品及び製品	8,395	11,069
仕掛品	1,922	3,806
原材料及び貯蔵品	7,070	17,869
未収入金	3,454	3,903
その他	469	1,479
貸倒引当金	△0	△6
流動資産合計	30,327	50,373
固定資産		
有形固定資産	10,104	11,729
無形固定資産	259	335
投資その他の資産	580	586
固定資産合計	10,944	12,652
資産合計	41,271	63,025
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,823	1,165
短期借入金	11,696	30,216
1年内返済予定の長期借入金	954	1,056
未払法人税等	382	751
賞与引当金	—	68
株主優待引当金	67	—
有償支給取引に係る負債	3,440	3,895
その他	1,672	1,216
流動負債合計	20,036	38,370
固定負債		
長期借入金	3,388	3,661
退職給付に係る負債	131	141
その他	1,672	1,812
固定負債合計	5,191	5,615
負債合計	25,228	43,985
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,161	1,251
資本剰余金	2,770	2,859
利益剰余金	11,601	13,357
自己株式	△0	△0
株主資本合計	15,532	17,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16	17
為替換算調整勘定	526	1,548
その他の包括利益累計額合計	510	1,565
新株予約権	—	6
純資産合計	16,043	19,040
負債純資産合計	41,271	63,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	25,329	28,722
売上原価	19,933	22,065
売上総利益	5,395	6,656
販売費及び一般管理費	3,162	3,805
営業利益	2,233	2,851
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	28	35
為替差益	—	363
受取保険金	83	21
助成金収入	25	79
補助金収入	3	—
補填金収入	54	59
その他	34	38
営業外収益合計	230	596
営業外費用		
支払利息	199	323
為替差損	129	—
その他	8	23
営業外費用合計	337	347
経常利益	2,125	3,101
特別利益		
負ののれん発生益	—	21
特別利益合計	—	21
税金等調整前四半期純利益	2,125	3,123
法人税、住民税及び事業税	503	988
法人税等調整額	33	22
法人税等合計	536	1,011
四半期純利益	1,588	2,111
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,588	2,111

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	1,588	2,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	33
為替換算調整勘定	181	1,021
その他の包括利益合計	176	1,055
四半期包括利益	1,765	3,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,765	3,167
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自2024年7月1日 至2025年3月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2025年7月1日 至2026年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2024年7月1日 至2025年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結財務諸 表計上額 (注2)
	養殖 事業	国内加工 事業	海外加工 事業	海外卸売 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,860	6,867	6,968	8,632	25,329	—	25,329
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,400	485	3,528	—	6,414	△6,414	—
計	5,261	7,352	10,496	8,632	31,743	△6,414	25,329
セグメント利益	742	953	770	453	2,920	△687	2,233

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去が△94百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△593百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2025年7月1日 至2026年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結財務諸 表計上額 (注2)
	養殖 事業	国内加工 事業	海外加工 事業	海外卸売 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,887	8,022	6,847	10,964	28,722	—	28,722
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,716	1,289	4,253	42	8,301	△8,301	—
計	5,604	9,311	11,100	11,006	37,023	△8,301	28,722
セグメント利益	539	1,955	546	726	3,768	△916	2,851

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去が△155百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△761百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
減価償却費	1,029百万円	1,163百万円

(収益認識関係)

前第3四半期連結累計期間(自2024年7月1日 至2025年3月31日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期 連結財務諸 表計上額
	養殖 事業	国内加工 事業	海外加工 事業	海外卸売 事業	計		
売上高							
日本	3,051	7,047	8,048	0	18,147	△3,957	14,190
アジア	119	305	3,667	8,644	12,736	△3,688	9,047
その他	2,091	—	—	—	2,091	—	2,091
調整額(注)	△2,400	△485	△4,747	△11	△7,646	7,646	—
顧客との契約から生じる収益	2,860	6,867	6,968	8,632	25,329	—	25,329
外部顧客への売上高	2,860	6,867	6,968	8,632	25,329	—	25,329

(注)「調整額」は、連結子会社間で生じた取引による売上高消去が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自2025年7月1日 至2026年3月31日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期 連結財務諸 表計上額
	養殖 事業	国内加工 事業	海外加工 事業	海外卸売 事業	計		
売上高							
日本	3,103	8,810	7,645	42	19,601	△4,715	14,885
アジア	183	501	4,346	11,021	16,052	△4,639	11,413
その他	2,316	—	106	—	2,423	—	2,423
調整額(注)	△2,716	△1,289	△5,250	△98	△9,354	9,354	—
顧客との契約から生じる収益	2,887	8,022	6,847	10,964	28,722	—	28,722
外部顧客への売上高	2,887	8,022	6,847	10,964	28,722	—	28,722

(注)「調整額」は、連結子会社間で生じた取引による売上高消去が含まれております。